

☆検察官にインタビュー☆



僕は、とびー！威勢の良さが持ち味だよ！

金沢地方検察庁の検察官にインタビューしてきたよ♪

さっそく、みんなに伝えるね♪

Q. 検察官は、どんな仕事をしているのですか？



検察官は、警察から送致された事件について、自らが被疑者や参考

人の取調べを行ったり、警察官を指揮して補充捜査を行ってもらった

りして、自らが主体的に捜査を行い、収集された証拠の内容を十分に検討した上

で、最終的に被疑者を起訴するか否かの処分を決定します。

このように、被疑者を起訴するか否かを決定するのは、検察官だけの権限です。

また、起訴した事件について裁判で立証し、裁判所に適切な判決を求めるのも
検察官の重要な仕事です。

Q. どんなバッジをつけていますか？バッジの意味を教えてください！



検察官のバッジの形は、紅色の旭日(朝日)に菊の白い花びらと
金色の葉があしらわれています。

その形が霜と日差しの組合せに似ていることから、厳正な検察官の職務と理
想像とが相まって「秋霜烈日」のバッジと呼ばれることもあります。

「秋霜烈日」とは、秋の冷たい霜と夏の厳しい日差しのことで、刑罰の志操の

厳しさにたとえられています。

Q. 仕事でやりがいを感じることは何ですか？



検察官の仕事には、社会のため、被害者のため、被疑者の更生のために、社会の中で誰かが対処しなければいけない大事な仕事を行っているという使命感や、適正な処分を決定できたときの充実感、達成感があります。

さらに、検察官の仕事では、警察などの関係機関と協力関係を構築し、検察内部の他の検察官や検察事務官の協力を得ながら、また、人から信頼を得て真相解明という目標に向かって進む前向きな仕事であり、日々の仕事のいたるところにやりがいを感じます。

Q. 子供の頃はどんな勉強（科目）が得意でしたか？



保健体育が得意でした。

Q. 検察官になりたいと思ったのはいつ頃ですか？



もともとは弁護士になりたいと思っていましたが、司法試験に合格後、司法修習という研修中に関わった検察官、検察事務官の人柄や、検察組織の明るい雰囲気惹かれ、検察官になりたいと思うようになりました。

Q. 検察庁の雰囲気はどのような雰囲気ですか？



厳しいイメージを持っている人もいますが、職場では、検察官ひとりひとりにパートナーの検察事務官(立会事務官)がいて、仕事の話だけではなく、雑談をしたり、プライベートの話をしたり、とても仲良く働いています。

また、立会事務官の他にも、職場には複数の検察官、検察事務官がおり、いつでも気軽に相談をすることができますし、自分の判断に迷ったときには上司にも気兼ねなく相談ができるので、検察庁の雰囲気は非常に良いです。